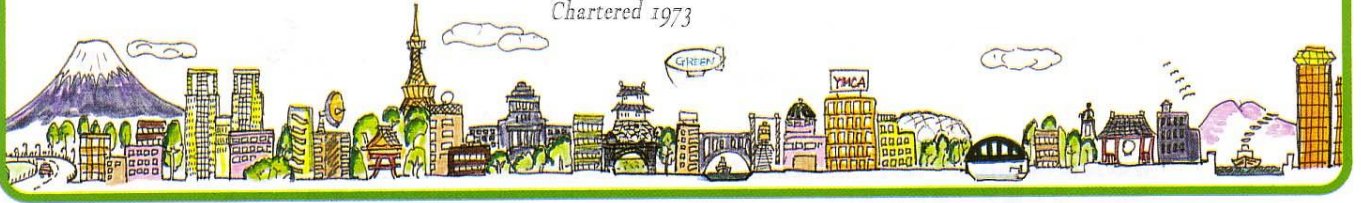




東京グリーン

Chartered 1973

〒135-0016
東京都江東区東陽 2-2-20
東京 YMCA 東陽町センター内



To Acknowledge the Duty that Accompanies Every Right

< 2025.2 > BULLETIN 2024年7月~2025年6月

会長 樋口 順英
副会長 青木 方枝
書記 村杉 一榮
会計 小仁 恵子
監査 柿沼 敬喜
担当主事 柳原みずき

国際会長 A・シヤナヴァスカーン 「より良い世界のために、共に」
アジア太平洋地域会長 ジョウン・ウォン 「大きなインパクトを起こそう」
東日本区理事 山田 公平 「ワイズの方向性を見極める」
関東東部部長 山本 剛史郎 「我々は微力かもしれないが、無力ではない！」
クラブ会長 樋口 順英 「元気で楽しいのが一番！」

2月度 TOF
あなたの御言葉は、わたしの道の光、わたしの歩みを照らす灯 詩編 119 編 105 節
* 神の言葉は、わたしの進むべき道を示す光であり灯である。
飢えに苦しむ世界の人たちへの連帯を

2025年2月 例会

日時: 2025年2月19日(水) 18:00 ~ 20:00
場所: 東京YMCA東陽町センター
★進行:村杉メン、 受付:青木メン、
開会点鐘 樋口 会長
ワイズソング・ワイズの信条 全 員
会長挨拶 樋口 会長
ゲスト、ビジター紹介 樋口 会長
聖句・お祈り・食事 西澤 メン
メンバースピーチ 西澤 絃一
~テーマ「メルル・ヴォーリス氏に学ぶ」
各種報告 樋口 会長
YMCA 報告 柳原 主事
ハッピーバースデー 西本東司・息子、
柿沼敬喜、高谷恵子
閉会点鐘 樋口 会長

【例会出席率】 在籍:16名 1月出席率4/13 31%
出席:1月 (メン4名、メネット0名) 計4名
【ニコニコ】 ¥4,000

CS/Yサ「ワイズ・ナイトフォーラムII」

今年1~3月に、ワイズ・ナイトフォーラムIIがZoom開催されています。
ねらいは、東日本区CS/Yサ活動の事例を紹介しこれからの活動のヒントを得ようとするものです。
わたしは第1回(1月26日(日)20:00~)に参加し、自ら「神田川船の会」の概要を稚拙にも説明するとともに、他2クラブの具体的でわかりやすい活動の説明を受け、たいへん勉強になりました。
いずれも身近な問題をテーマとし、行政、地域のサポートを受け、ワイズならではのひと味ちがう活動をなさっています。
まだあと2回ありますので、日曜日の午後8時からという、大河ドラマと重なるゴールデンタイムではありますが、ご都合をつけZoom参加してみたいかがでしょうか?
ことし46年目を迎える「神田川船の会」に活かせるような「眼から鱗の」素晴らしいヒントが見つかるかもしれません。
樋口 順英

◆2025年在京ワイズ合同新年会報告

日時：2025年1月11日(水) 13:30～16:30

場所：東京YMCA東陽町センター

出席者：82名、うち東京グリーン8名

ホストクラブ：東京西クラブ

▲ 概要

① 第1部：新年礼拝

東京YMCA総主事、菅谷淳様、YMCA同盟執行理事、横山由利亜様の新年メッセージはすばらしく、「誰かのために良いことをしたい(=善意)をかたちにする」(菅谷様)、「人のふところに入るあたたかさ」(横山様)といったワイズの原点を再認識しました。



② 第2部：アトラクション：

古典落語一席 噺家 橘の百圓さんのハイレベルの芸を堪能しました。すばらしい！！

③ 第3部：賀詞交換会

カフェテリア室にて大勢の方々が年一度の旧交を温めました。

前年の樽酒パーティーとは違い、西クラブならではの清楚でソフトな感じで行われました。小分けされたお料理やデザートには衛生面での配慮が感じられました。

④ 運営面では、神谷実行委員長の優れた采配のもと、武蔵野多摩、たんぼぼ両クラブの協力により進められ、すばらしいチームワークは参考になりました。

▲ スナップ写真の数々(全員の記念写真は省略します)



◆2025年1月新年例会報告

日時：2025年1月15日(水) 18:00～20:00

場所：東京YMCA東陽町センター

出席者：4名、青木、小仁、佐野、樋口各々

▲ 概要

- ① インフルエンザなどによる体調不良のため欠席が相次ぎ、4名による新年例会となりました。
- ② ささやかながらお年賀の乾杯のあと、各人のメンバースピーチと、当クラブのための改善提案などざっくばらんな意見交換をおこないました。少人数ならではの良さを感じました。

▲主な報告、検討事項(当日配布資料より)

- ① 2025年神田川船の会の日程は下記とします。

春：5月10日(土)

秋：10月11日(土)

- ② 次期クラブ役員選定は、出席者が定数(8名)に満たず、柿沼選考委員欠席のため中止。後日11名が選考委員に議決委任し、選考を進めることとした。

▲メンバースピーチ：

- ◆ 佐野守マン：
 - 都青少年障害者支援育成プログラムで土日活動を行っている。ことしも続けていきたい。
 - いままでYMCAで勉強してきたことが、人生のプラスになっている。
 - 健康第一で1年間過ごしたい。
- ◆ 青木方枝マン：
 - 2年前に年賀状を止めたら正月が寂しくなった。
 - ワイズの世代交代を感じるようになったが、なにかお役に立ちたいです。
- ◆ 小仁恵子マン：
 - 健康、睡眠など自分自身にやさしくしようと思う。
 - 基礎体力を作り、尾瀬沼や殿ヶ谷庭園の散策したいし、読書もがんばるぞ。
- ◆ 樋口順英マン：
 - ことしは、「おもんばかり心」、相手の気持ちも考え(おもい)、推測する(はかる)ことを大切に、謙虚に、楽しく生きていきたいと思います。

▲ハッピーバースデー： 根本、佐野、樋口各々



◆2025/2026年度役員決定

会則第11条「次期会長・副会長の選出」にもとづき、次期会長・副会長選考委員会により、下記のとおり選出されました。(いずれも留任です)

会長：樋口 順英 会計：小仁 恵子
副会長：青木 方枝 監事：柿沼 敬喜
書記：村杉 一榮

(樋口 記)

◆第1回ワイズ・ナイトフォーラムⅡ報告

日時：2025年1月26日(日)20:00～21:30

参加対象：ワイズメンバー(新規メンバー候補含む)

主催：ワイズメンズクラブ国際協会東日本区

運営：東日本区地域奉仕・Yサ事業委員会

▲概要

- 東日本区のCS活動を紹介し、新活動のヒントとすることを目的としてZoom開催されました。
- 東日本区56クラブが実施しているCS活動は216にのぼります。今回のフォーラムではその中の9活動を3回にわけて紹介するものです。
- 今回の第1回目では、今年46年目を迎える「神田川船の会」につき、報告をおこないました。
- 我々も、他優秀CS活動を拝聴し、ヒントを得たいと思います。

▲「神田川船の会」報告の概要

- 1) 活動のねらい：神田川船の会がアピールするもの
- 2) 70年代発足当時の状況
- 3) 現在の活動状況
 - ① 「神田川船の会」開催(年2回)
 - ② 「課外授業」開催(年2回)
 - ③ 活動体制—東京YMCAとの分担体制
- 4) 新しいCS活動をはじめめるために
- 5) 神田川船の会ツアーの見どころ

▲これからのワイズ・ナイトフォーラムⅡ

■ 第2回 2025年2月16日(日) 20時～21時30分

- ① いもほり 十勝クラブ
- ② プランター野菜講座 東京多摩スマイルクラブ
- ③ Youth for NOTO 松本クラブ

■ 第3回 2025年3月16日(日) 20時～21時30分

- ① Y友広場 東新部
- ② 年賀ハガキコンテスト 熱海クラブ
- ③ 音楽を通して社会にアピールを

大和クリエイティブYサービスクラブ

(樋口 記)

◆「ソシアスフォーラム2024」参加報告

「日本社会で生きる外国にルーツのある子どもたち」

日時：2025年2月1日(土) 14:00～16:00

場所：東京YMCA山手センター

▲外国にルーツのある子供達の支援の現場から

講演・報告者：

是常景子氏(東京YWCA青少年育成事業部)

江尻明子氏(東京YMCA多文化共生スペース▽)

- 多くの外国ルーツの子供達が日本で生活していますが、言葉、文化、制度などに悩みを抱えている子供達も少なくありません。
- 東京YMCA、YWCAでは彼らに寄り添い、さまざまな支援を行なっています。「山中湖キャンプ」、「サニーサイド」(親に代わり宿題をみたり、居場所づくり)、「みっくす」(日常生活の体験ツアー)など多岐にわたります。
- 東京YMCAではこの支援活動の継続拡大を図るため、人材、拠点等確保のためクラウドファンディングを開始しました。

▲能登半島支援活動報告

社会体育・保育専門学校、ホテル専門学校の学生チームによる短期活動の報告で、現地の困難な状況をみますと、更なる支援が必要だと思いました。

(樋口 記)

◆2025年2月第二例会(役員会)

日時：2025年2月12日(水) 15:00～17:00 Zoom

主な議題：1) 3月以降の卓話予定

2) 「神田川船の会」運営関係

◆今後の主なスケジュール

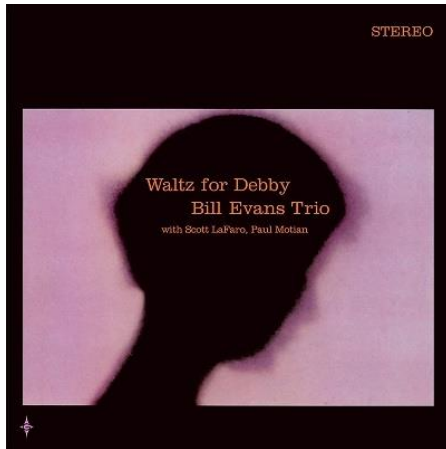
- 1) 2月15日(土) 後期区費支払い期限
- 2) 2月16日(日) ワイズ・ナイトフォーラムⅡ(Z)20:00
- 3) 2月19日(水) 2月例会(東陽町)18:00～
- 4) 2月22日(土) 陽春の集い(東陽町)13:30～
- 5) 3月8日(土)～9日(日)次期会長役員研修会(東山荘)
- 6) 3月12日(水) 2月第二例会(Z)15:00～
- 7) 3月16日(日) ワイズ・ナイトフォーラムⅡ(Z)20:00
- 8) 3月19日(水) 3月例会(東陽町)18:00～
- 9) 4月10日(木) チャリティーゴルフ大会(PGM総成)
- 10) 5月10日(土) 第91回神田川船の会(浅草橋)
- 11) 5月17日(土) 関東東部評議会
- 12) 6月 7日(土) 第28回東日本区大会(宇都宮)
- 13) 8月1日(金)～3日(日)アジア太平洋地域大会(熊本)

(樋口 記)

VIVA CLASSICAL

ジャズもクラシックだ！

私のジャズ入門曲『ワルツ・フォー・デビィ』



ビル・エヴァンス作曲「ワルツ・フォー・デビィ」(1956)

演奏:ビル・エヴァンス・トリオ(1961 ライブ録音)

ピアノ:ビル・エヴァンス(1929-1980)

ベース:スコット・ラファロ(1936-1961)

ドラム:ポール・モチアン(1931-2011)

この名曲は、1956年、まだ駆け出しであったエヴァンスが、当時2歳だったデビィという名の姪(兄の娘)のために作曲しました。

2歳の女兒を愛おしみ、彼女がスキスキと育ち、将来いいパートナーが現われてワルツを踊ることを念じたことでしょう。(筆者にもいま2歳半の孫娘がいます)

ヒットしたのはその5年後。エヴァンス・トリオが1961年にNYの名門ジャズバー「ヴィレッジ・ヴァンガード」で行なったライブを収録したアルバムが発売されてからです。

曲は、ピアノとベースによる愛らしく静かなワルツで始まります。途中、ワイヤブラシが小気味良くフォービート(4拍子)をきざんで軽快なリズムに変わり、続きベースの長いソロがヨチヨチ歩きを連想させます。その後、3者がそれぞれの感性を交錯させ音楽を育んでいきます。

エヴァンスは、従来のジャズスタイルが、ピアニストがリーダーで、ドラム、ベースはその引き立て役といったスタイルだったのに対し、各々が対等にアドリブを主張し音楽を紡ぎ上げていく「インタープレイ」というスタイルをつくり、以降のジャズやピアノトリオに大きな影響を与えました。

推奨CD:エヴァンスの語り口は、控えめでシックで、どこかしゃれている感じです。お気に入りになりましたら、「不思議の国のアリス」(Sunday at the Village Vanguard)、「枯れ葉」(Portrait in Jazz)などもお勧めです。
(樋口 記)

YMCA コーナー

1. 全国のYMCAに寄せられた半島豪雨緊急支援募金を用いて、11月末までに全国YMCAからボランティア、スタッフ計250名が輪島市町野町での水害ボランティアに参加した。

また12月には富山YMCAや全国複数のワイズメンズクラブにより、町野町の仮設住宅でリフレッシュプログラム(クッキングや歌声広場など)が実施された。

なお、2月1日のソシアスフォーラムでは水害ボランティアに参加した専門学校生から活動報告を聞く他、能登半島支援のための物産品販売も予定している。

2. 毎年恒例のウクライナYMCAクリスマス交流として、東京YMCAキッズガーデンとインターナショナルスクールの子どもたちがウクライナに手作りのカードやお菓子を贈り、ウクライナYMCAの子どもたちからもカードやお菓子が届いた。

またウクライナYMCAのViktor Serbulov総主事より、東京YMCAウクライナ支援募金を用いてウクライナ各地で9つの夏期キャンプを実施し、戦時下の子どもたち計530人が参加したとの報告を受けた。なおウクライナYMCAの冬期キャンプのために、東京YMCAから5000ドルを追加で送金することとした。

3. 「第15回フードパントリー」として、12月14日から東陽町センターと江東センターではひとり親家庭と生活にお困りのご家庭に、食材などを無料配布した。実施にあたり、多くの会員や地域の方、企業、団体からご寄付をいただいた。次回は3月中旬に実施予定。

4. 今後の主な行事予定

1)「ソシアスフォーラム 2024」2月1日会場:山手センター
「日本社会で生きる外国にルーツのある子どもたち」
是常景子氏(東京YWCA青少年育成事業部)
江尻明子氏(東京YMCA多文化共生スペース▽)

2)「第900回記念早天祈祷会」2月3日

会場:山手センター(祈祷会及び懇談会)

説教:古賀博牧師(日本基督教団早稲田教会)

3)「YMCAピンクシャツデー2025」(いじめ反対運動)
2月26日

4)「国際協力一斉街頭募金」3月22日 新宿駅周辺

5)「総主事就退任式」3月29日 会場:霊南坂教会

司式:古賀博牧師(評議員会会長/早稲田教会)

奏楽:飯靖子氏(理事/霊南坂教会オルガニスト)

(クラブ担当主事:柳原 記)